

施策評価シート (平成22年度の振り返り、総括)

作成日 平成23年 06月 20日

施策 No.	8	施策名	生涯学習の推進
主管課名	生涯学習課	電話番号	0285-82-7151
関係課名	文化課、スポーツ振興課、科学教育センター、企画課、福祉課、(社会福祉協議会)		

施策の対象	市民								
対象指標名	単位	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	26年度見込
人口	人				66,712	83,392	82,997	82,584	85,500

施策の意図	市民に学習機会を提供することにより、生涯にわたって学習テーマを持ち、学習してもらう。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合は、市民意向調査の集計結果</li> <li>・生涯学習に関する講座数及び参加延べ人数は、生涯学習課、文化課、スポーツ振興課、科学教育センター、社会福祉協議会の数の合計</li> <li>・講座数及び講座参加延べ人数は、21年度から出前講座を始めたことなどにより26年度の目標をすでに上回っている。</li> </ul>								
成果指標名	単位	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	26年度基本計画目標値
学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合	%				21.4	23.9	24.8	26.4	35
生涯学習に関する講座数	講座				75	71	90	87	77
生涯学習に関する講座参加延べ人数	人				6,989	7,439	9,768	10,981	8,000

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	生涯学習は、市民が自主的に活動することが必要であり、主体は市民である。行政は講座などを通じて生涯学習のきっかけをつくり、自主活動団体としての活動を支援していくために、施設などの機会と場の提供等の学習環境の整備が主な役割となる。
-------------------------	---

22年度の 評価結果	<p>1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民意向調査結果では、学習活動に取り組んでいる割合は26.4%で少しづつ上昇傾向である。学習内容としては「スポーツ・レクリエーション活動」が25.3%と最も多く、次いで「芸術・歴史・文学等の文化活動」17.4%、「地域での交流活動」14.8%となっている。学習方法としては、「個人的な学習」31.2%と「グループ・サークルでの活動」23.5%が多く、「公共機関が開催する教室・行事等」は12.8%となっている。学習活動に取り組む動機としては、「趣味や教養を深める」が26.9%で、「健康・体力づくり」が18.7%、「仲間づくり」15.8%などとなっている。</li> <li>・ スポーツ、レクリエーションでは、54.8%が何らかのスポーツを行っており、ウォーキングが24.3%であった。</li> <li>・ 「生涯学習の推進」については、生涯学習課、文化課、スポーツ振興課、科学教育センター、社会福祉協議会で市民講座を87講座行い、推進を図っている。</li> <li>・ 事業を分類すれば、生涯学習課及びスポーツ振興課は子どもから高齢者を対象に、科学教育センターは主に子どもを対象に、文化課、社会福祉協議会は主に中高年者を対象に事業を実施している傾向にある。</li> <li>・ 図書館の利用者数は、平成22年度182,100人と前年よりも1,940人減少したものの、図書貸出し冊数は、253,106冊と前年度よりも1,744冊増加した。年間利用者1人1回あたり貸出し冊数は、21年度1.37冊、22年度1.40冊で、貸出し冊数制限を無くしたためと考えられる。</li> <li>・ 平成22年度の市民会館利用人数は、大ホール72,562人、小ホール26,062人で、前年度と比較するとそれぞれ7,532人、5,301人増加している。また、二宮文化会館は16,228人で、前年度と比較し、5,252人の減少となっている。</li> </ul>
	<p>2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 22年度は前年度に比べ講座数はメニューの見直しを行い、3講座減少したが、参加者数が1,213人の増加となった。</li> <li>・ 20年度末の合併に伴い、旧二宮町役場を改修し二宮コミュニティセンターを整備した。施設には二宮支所、公民館二宮分館・会議室・調理室・図書室・ギャラリー、土地改良協議会、生きがいデイサービス施設を設置した。</li> <li>・ 生涯学習をさらに推進するため、市民のもとへ出向いて行う「出前講座」を平成21年12月から実施し、平成22年度から本格実施している。</li> <li>・ 図書館においては、平成21年度から指定管理者制度を導入して開館時間の延長や休館日を減らし利用者の利便性の向上を図っている。</li> <li>・ 平成22年3月に「真岡市生涯学習推進基本構想・基本計画」を策定し、進行管理を行っている。</li> </ul>

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- ・生涯学習のきっかけづくりとしての市民講座については、市民のニーズを把握しながら、より多くの講座を開設して参加者を増やしていく。
- ・市民講座の受講者には、講座終了後には定例使用団体となって、自立して活動していただく方向で、今後も指導を図っていく。
- ・出前講座のメニュー拡大と各団体、事業所等への周知の強化。
- ・二宮コミュニティセンターを最大限に活用し、市民のふれあいの場としていく。特に二宮分館の会議室・調理室・図書室・ギャラリーを活用した事業を積極的に展開していく。
- ・市民会館及び二宮文化会館は、震災の影響により使用できない状況になっている。市民会館は、耐震診断を実施しており、その結果に基づき耐震補強工事を含めた改修計画を策定して復旧を図っていく予定であるため、24年度までは休館の見込みである。二宮文化会館は、24年1月の再開を目標に補修工事設計等の作業を進めている。

22年度の  
評価結果

補足事項